

令和 5 年 2 月 28 日
株式会社 清水銀行

株式会社秋山機械 との 「しみずポジティブ・インパクト・ファイナンス」契約締結について

清水銀行（頭取 岩山 靖宏）は、お客様の SDG s の達成をご支援するため、各種サステナブルファイナンスの提供に努めており、その一環としてこのたび、株式会社秋山機械（代表取締役 小口 郁哉）と「しみずポジティブ・インパクト・ファイナンス」契約を締結いたしました。

本件の取組みにあたっては、関連会社の株式会社清水地域経済研究センター（代表取締役 田中 昌一）がインパクト分析・特定のうえ評価書を作成し、株式会社日本格付研究所（代表取締役社長 高木 祥吉）がポジティブ・インパクト金融原則との適合性を確認しました。

清水銀行では、2021 年 12 月に「環境方針」「責任ある投融資方針」からなる「清水銀行サステナビリティ方針」を策定し、持続可能な社会の実現や社会的課題の解決に向けた取り組みを加速させてまいりました。今後も社会・環境問題の解決に資する取り組みを一層推進し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

1. 契約概要

契約日 : 令和 5 年 2 月 28 日（火）
融資金額 : 1 億円
資金使途 : 運転資金

2. 借入人概要

企業名 : 株式会社秋山機械
所在地 : 静岡県静岡市駿河区北丸子一丁目 30 番 10 号
事業内容 : 食品加工機械製造業

3. 借入人の主な取組み（詳細は「ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書」をご参照ください）

（1）特定されたインパクト

ポジティブなインパクトの成果が期待できる事項	<ul style="list-style-type: none"> ・安全性を向上した食品加工機械の開発による食品加工業界の労働災害事故減少 ・年齢、性別、国籍を問わない雇用 ・自社製品の鋸刃の再研磨によるリサイクルの取り組み ・機械更新に伴い引き取った機械の再整備販売
ネガティブなインパクトの低減が必要となる事項	<ul style="list-style-type: none"> ・労働災害事故発生の抑制を図る ・生産性向上による残業時間の削減 ・営業用車両における省エネルギー車両化の推進

（2）測定する KPI

社会面	<ul style="list-style-type: none"> ・2030 年までに「バンドソー」の販売台数のうち安全装置を組み込んだ機種を 20%以上にする ・2030 年までに女性従業員を現在の 9 名から 11 名以上にする ・2030 年までに外国人従業員を現在の 5 名から 7 名以上にする ・2030 年までに 60 歳以上の従業員を現在の 13 名から 15 名以上にする ・2030 年までに女性管理者を現在の 2 名から 3 名以上にする ・2023 年にストレスチェックを導入し、全員実施を維持する ・2030 年までに労働災害事故の発生をゼロにする ・2030 年までに残業時間を現状の 1 人当たり平均 5.46 時間/月以下とする 	 
-----	--	---

環境面	<ul style="list-style-type: none"> ・更新により回収した機械の再整備販売率 100%を維持する ・営業用車両 18 台中 2 台となっている省エネルギー車両を 2030 年までに 9 台以上とする 	 
経済面	<ul style="list-style-type: none"> ・2030 年までに「バンドソー」の販売台数のうち安全装置を組み込んだ機種を割合を 20%以上にする ・2030 年までに女性従業員を現在の 9 名から 11 名以上にする ・2030 年までに外国人従業員を現在の 5 名から 7 名以上にする ・2030 年までに 60 歳以上の従業員を現在の 13 名から 15 名以上にする ・2030 年までに女性管理者を現在の 2 名から 3 名以上にする 	 

以 上

<ニュースリリースに関するお問い合わせ> 清水銀行 支店営業部 白井 054-366-9990

